

保護者会での所信表明

保護者会は学級担任にとって緊張感のあるものです。特に、年度初めの保護者会は互いに初対面であり、人見知りの私にとっては、毎回、大きなプレッシャーでした。そこで、必ず、以下のようなお願いをしてきました。

私からのお願いが一つだけあります。それは、「私への批判を、絶対にお子さんの前で言わないようにしていただきたい。」ということです。

理由は、一番好きな人が、その次に好きな人の批判をしているのを聞くことが、その子にとって一番つらいことであるからです。学級が崩れる一番の近道は、保護者が子供の目で学級担任の悪口を言うこととされています。

「そうなのね。それって指導に問題があるからなのかもね。先生、そんなこと言ったの。ひどいわね。」などの会話が、気がつかないうちに子供の耳に入るようなことが絶対にあってははいけません。

とはいえ、私の指導に疑問をもたれることもあることと思います。私も完全な人間ではありません。それどころか、よくそそっかしいことをしたり、間違えたりで不満や誤解をもたれることも出てくるでしょう。どうぞその時は、お子さんのいない所で直接連絡をしてください。いただいたお声にお答えするとともに、指導改善に結びつけてまいります。日をまたぐと、私への不信がより大きくなることでしょう。ぜひ、その日のうちにご連絡をくださいますよう、お願いします。

同様の実践をされている先生方も多いと思われませんが、アレンジしてご活用ください。

ことばの教室の先生方は、発達段階に応じた、より個別のお話をされることと思います。